

医療における情報(薬剤)の標準化を考える

24

医療データ活用基盤整備機構

折井 孝男

医療における医薬品コード③

医薬品には様々なコードが存在する。本連載でも取り上げてきたが、今回はWHO・ATCコード、一般名処方一般名コードについてもう少し深掘りして説明する。

◇WHO・ATC

コード (Anatomical Therapeutic Chemical)

医薬品の分類に用いられる解剖治療化学分類で、WHOによって管理されているものである。

各医薬品は効果をもち、部位・器官および作用能・化学的特徴によって、いくつかの分類に分けられる。成分が同一でも、投与経路等によって異なるコードや複数のコードが付与される場合がある。

◇一般名処方一般名

コード

一般名処方(※)による処方箋を交付した場合に、処方箋に記載

する一般名処方の標準的な記載に対応するコードである。薬価基準収載医薬品コードの上9桁に続き“ZZZ”を付記し、12桁としている。一般名処方の標準的な記載は【般】+一般的な名称+剤形+含量で構成される。一般名処方加算

の算定対象となる品目は、厚生労働省のウェブサイトに掲載されている。

医薬品コードの解説については、医薬品情報標準化協議会の寺内恭平氏の協力を得た。

表1 WHO-ATCコード構成

(例)レクサプロ錠10mg(シタロプラム、ATCコード:N06AB04)の場合

N 06 A B 04

① ② ③ ④ ⑤

- ①：解剖学的部位に基づいた分類
- ②：治療法メイングループによる分類
- ③：治療法・薬学サブグループによる分類
- ④：化学・治療法・薬学サブグループによる分類
- ⑤：化学構造サブグループによる分類

①～⑤を組み合わせることで異なる大きさの分類を表現する。

構成	データ	分類
①	N	神経系
①+②	N06	精神賦活薬
①+②+③	N06A	抗うつ薬
①+②+③+④	N06AB	選択的セロトニン再取り込み阻害薬
①+②+③+④+⑤	N06AB04	シタロプラム

表2 一般名処方用一般名コード構成

【般】イフェンプロジル酒石酸塩錠20mgの場合

2190005F2 ZZZ

① ②

- ①：薬価基準収載医薬品コードの上9桁
- ②：Zが三つ (ZZZ)

*一般名処方：後発品が存在する医薬品について、薬価基準に記載されている品名に代えて、一般的名称に剤形および含量を付加した記載で処方することを指す。